

平成 30 年 8 月 24 日

投資家のみなさまへ

大和証券投資信託委託株式会社

「トルコ・ボンド・オープン（毎月決算型）」

「トルコ・ボンド・オープン（年 1 回決算型）」申込受付中止のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

8 月 14 日から申込みの受付を中止しております掲題ファンドにつきまして、受付の再開を検討して参りましたが、トルコ市場が犠牲祭のため休場となっており、トルコ・リラ建て債券およびトルコ・リラの流動性の回復を確認するに至っておりません。

当社では引き続き投資信託約款の規定に定める「外国為替取引の停止その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更および規制の導入、自然災害、クーデター、重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖または流動性の極端な減少ならびに資金の受渡しに関する障害等）」に該当するものと判断しております。

つきましては、上記の投資信託約款の規定に基づき、以下のファンドについて、8 月 28 日および 8 月 29 日のご購入・ご換金（解約）のお申込みの受け付けを中止させていただきます。

お手数をお掛けいたしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

記

対象ファンド

協会コード	回次コード	ファンド名
0431311B	3131	トルコ・ボンド・オープン(毎月決算型)
04316138	3183	トルコ・ボンド・オープン(年1回決算型)

【トルコ・ボンド・オープン 設定・解約中止Q&A】

Q 1. なぜファンドの設定・解約を中止するのですか？

A: トルコでは8月21日（現地、以下同様）から24日まで犠牲祭（クルバンバイラム、20日は前夜祭のため半休日）のため休場となっています。20日、午前中の時点ではトルコ・リラ建て債券および通貨トルコ・リラの流動性が低下し、売買が困難な状況が続いておりました。27日から現地での取引が再開されますが、流動性が回復し、設定・解約に伴う債券・通貨の買い付けや売り付けに支障がないことを確認するに至っておりませんので、28日、29日の受付を停止することと致しました。

Q 2. いつまで設定・解約の申し込みが中止されますか？

A: 今回は8月28日および8月29日の設定・解約の申し込みを中止させて頂くことを決定致しました。なおトルコでは8月30日は勝利の日で祝日となるため設定・解約の申し込みは中止となっております。

（参考）ファンドの申込受付中止日について

- ① イスタンブール証券取引所、トルコの銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日
- ② ①のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日

【設定・解約カレンダー（2018年8月）】

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20 前夜祭	21 犠牲祭	22 犠牲祭	23 犠牲祭	24 犠牲祭	25
26	27 ロンドン休	28	29	30 勝利の日	31	

	前回決定した受付休止日
	今回決定した受付休止日
	委託者の定める休業日
	トルコ市場休業日
	ロンドン市場休業日
	ファンドの受付休止日

Q 3. トルコ・リラ建て債券の売買環境について教えてください。

A: 8月17日には、格付会社のムーディーズ・インベスターズ・サービスが、外貨建てとリラ建ての長期国債の格付けについて、「B a 2」から「B a 3」に1段階下げ、S&Pグローバル・レーティングが外貨建てとリラ建ての長期国債の格付けについて、それぞれ「BBマイナス」から「Bプラス」に、「BB」から「BBマイナス」に1段階引き下げました。トルコでは8月21日から24日まで犠牲祭（20日は前夜祭のため半休日）のため休場となっています。

Q 4. どのような状況になれば流動性は改善されると見込まれますか？

A: 今般の流動性の低下は、トルコ情勢をめぐる不透明感を背景とした市場の急激なボラティリティの高まりによって、業者の取引能力が低下していることが大きな理由として挙げられます。今後、流動性が改善し、債券・為替相場が反発するためには、対米関係の改善や中央銀行の利上げが行われることにより、トルコ情勢を巡る不透明感が後退し市場が落ち着きを取り戻すことが必要だと考えています。

Q 5. 今後の見通しを教えてください。

A: 8月22日付けのファンド・レター「トルコ・ボンド・オープン（毎月決算型）第80期分配金は15円（1万口当たり、税引前）」をご覧ください。

※ [リンク：「トルコ・ボンド・オープン（毎月決算型）第80期分配金は15円（1万口当たり、税引前）」](#)

以上